

稲吟OB会会報

No. 39



吟 在早稻田
早稻田大学稲吟OB会

稲吟OB会の春号をお届けします。今号では、3月の定例総会や、稲吟会の新執行部からのメッセージ、そして3月に行われた春合宿についてお伝えいたします。

■目次■

巻頭言 60周年を見据え、現役を支えよう (OB会会長 大竹茂行)	1
News Flash	
第59代執行部発足、春合宿も開催される	2
2014年度稲吟OB会定例総会 開催.....	3
稲吟OB会の新年会、開催される.....	3
伊藤周作さんを囲む会、創設当時の様子が明らかに.....	4
定例総会報告	
2014年度稲吟OB会定例総会報告.....	5
躍動！ 稲吟会だより	
稲吟会らしさ (幹事長 馬場郁実)	8
新入生勧誘について自分の思う事 (会計幹事 中里貴央)	9
元気！ OB寄稿	
独立開業しました (平4 高野浩樹)	10
学生時代よりも学生らしい生活 (平25 紺谷弘毅)	12
事務局から	
会員近況情報.....	13
会費納入にご協力ください.....	13
編集後記.....	13

■表紙解説

南門よりキャンパスを望む。この日は卒業式、開花が遅れていた桜ですが、なんとか若者たちの門出に間に合ったようです。4月には再び新たな若者を迎えます。

60周年を見据え、現役を支えよう

稲吟OB会会長 大竹茂行（平3）

皆様いかがお過ごしでしょうか。去る3月1日、早稲田奉仕園においてOB会定例総会が開かれ、今後1年間の予算や活動方針などについてご承認いただきました。詳細につきましては本編をご覧くださいと思いますが、2点だけこちらで触れさせていただきます。

一つは現役支援の件です。今期も現役諸君の新入生勧誘活動費の補助として対稲吟会緊急支援を継続することといたしました。現役諸君の努力の甲斐もあり、昨年、10人を超える新入会員を迎えることができましたが、ぜひとも今年以降もこの流れが続くようにとの願いを込めてのものです。「現役あつてのOB会」です。ぜひとも趣旨をご理解いただきたいと思います。

もう一つはOB会費納入のお願いです。昨期、OB会費を納入していただいたのは70数名でした。OB会員数は毎年増えているにもかかわらず、会費をご納入いただく会員数はここ10数年、ほとんど変わっておりません。特に平成世代の納入率が低くなっています。当然のことながら、OB会活動は皆様からいただいた会費によって成り立っています。会員が増えているにもかかわらず会費の納入が増えなければ、いずれ会活動は行き詰まることになります。ぜひ、会費納入にご協力ください。

さて、来年は稲吟会創立60周年です。現役諸君は何とか早稲田大学内の施設で記念発表会を開催したいとの意向ですが、学内施設利用の申し込みは来年春にならないとできないそうです。OB会としては、現役の記念発表大会の会場と日時が決定した段階で速やかに祝賀会場を選定し、皆様にご案内することになっています。

いずれにしても、今年、来年と稲吟会に多くの会員が入会し、盛大な60周年を迎えることができるよう、OB会として可能な限りの現役支援を続けていきたいと思っております。皆様のご理解、ご支援をお願いします。



◆◆ News Flash ◆◆

第 59 代執行部発足、春合宿も開催される

第 59 代となる新執行部が昨年 12 月に発足しました。馬場郁実幹事長を中心に、以下のような総勢 7 名の陣容です。

新執行部の下、3 月 10 日から 12 日にかけて稲吟会の春合宿が行われました。場所は茨城県潮来市にある大川吾風先生の道場で、詩吟の練習や 3 月末にも行われる新入生の勧誘に向けての準備が進められました。

■第 59 代早稲田大学稲吟会執行部

幹事長	馬場郁実 (政経 3)
副幹事長	中山祐輔 (文 3)、大竹麗子 (文構 2)
会計幹事	中里貴央 (政経 3)
指導幹事	西奈津希 (東女大・現代教養 2)
渉外幹事	高澤春香 (文構 2)
総務幹事	水谷優貴 (商 2)



2014 年度稲吟OB会定例総会 開催

2014年度の稲吟OB会定例総会が3月1日(土)に早稲田奉仕園キリスト教会館にて開催されました。総会には9名のOBに加え、稲吟会執行部3名をオブザーバーとして迎えて行われました。会議では、2013年度決算、2014年度予算と活動計画について議論・承認されたほか、特別会計のあり方や地方支部への支援について議論が交わされました。詳細は5ページ以降の資料をご覧ください。



稲吟OB会の新年会も開催される

2014年3月1日(土)の定例総会終了後、西早稲田の早稲田蔵にて新年会が開催されました。前田茂則さん(昭35)、松岡宣夫さん(昭41)の乾杯で始まった会は、OB11名に稲吟会の諸君も加わり、賑やかな宴となりました。

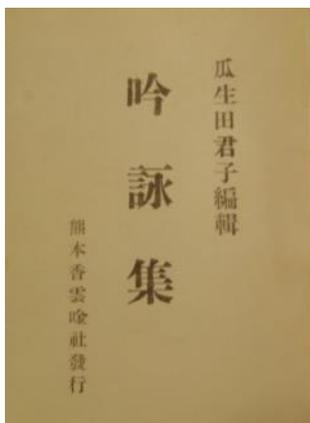


伊藤周作さんを囲む会、結成当時の様子が明らかに

2014年3月19日（水）に銀座・桃花源にて、伊藤周作さん（昭32院卒）に稲吟会の創立当時のお話を伺う会が催されました。これは鳥山正光さん（昭33）の呼びかけによるもので、創成期の当時を知るメンバーに加えて稲吟会の現役幹事長、副幹事長も駆けつけて貴重なお話を耳を傾けました。

稲吟会の設立までの経緯や、植田重雄先生の会長就任までのいきさつ、師範としてご指導いただいた伊藤海風先生のことなど、これまで知られていなかった稲吟会の最初期について貴重なお話を伺うことができました。

席上、伊藤さんが当時お使いだった、稲吟会の最初の「吟詠集」が稲吟会に寄贈されました。



2014 年度稲吟OB会定例総会報告

2014 年度の稲吟OB会定例総会が3月1日（土）に早稲田奉仕園キリスト教会館にて行われ、2013 年度決算、2014 年度予算と活動計画が承認されました。

■2013 年度活動報告

2月23日	石堂常世先生送別会	早稲田いねや
3月2日	2013 年度定例総会・初会合	早稲田奉仕園・早稲田蔵
2月24日～26日	稲吟会春合宿	潮来市
8月17日	稲吟OB会・稲吟会 交流行事	新宿ライオン
9月1日	稲吟OB会会報37号発行・年会費請求	事務局
9月1日～4日	稲吟会夏合宿	千葉・岩井海岸
11月16日	稲吟会第58回大会	早稲田大学学生会館
12月1日	稲吟OB会会報38号・会員名簿発行	事務局

■2013 年度決算報告

2013年度(2013/1/1-2013/12/31)通常会計 決算

収入の部			支出の部			
費目	予算	決算	費目	前年度決算	予算	決算
前年度繰越金	261,989	261,989	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
年会費*	500,000	575,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
記念大会特別会計より繰入	300,000	300,000	稲吟会新勸緊急支援	200,000	250,000	250,000
寄付金	0	10,825	通信費	144,905	150,000	114,860
			会報製作費	57,380	95,000	53,700
			広報関係費	3,390	3,390	3,390
			名簿制作費	0	80,000	99,798
			行事関係費	101,800	100,000	87,450
			慶弔費	2,961	30,000	0
			役員会議費	106,490	15,000	0
			事務局経費	1,110	23,599	1,175
			記念大会特別会計繰入	60,000	0	0
			地方等支援	0	80,000	0
			振込手数料	3,307	5,000	840
			予備費	0	50,000	0
			次年度繰越金	261,989	0	356,601
合計	1,061,989	1,147,814	合計	1,123,332	1,061,989	1,147,814

※年会費77名

以上

■新役員人事

- (退任) 高橋 優 (平4) 事務局長代理を退任
- (退任) 中川和歌奈 (平21) 事務局を退任
- (退任) 中川正章 (平21) 現役担当を退任
- (新任) 紺谷弘毅 (平25) 現役担当に就任

2014 年度 役員人事

顧問	野中民蔵 (昭40)	松岡宣夫 (昭41)	須田芳矩 (昭42)
	藤田和夫 (昭45)	小出秀文 (昭48)	
会長	大竹茂行 (平3)		
副会長	松村哲郎 (昭48)	行 俊昭 (昭62) 関西支部長	菅原 均 (平4) 事務局
	田口勝徳 (平6) 事務局長		
会計監査	山田仁史 (平1)		
事務局	田口勝徳 (平6) 事務局長	板倉真介 (平10) 会計担当	
現役担当	紺谷弘毅 (平25)		

■2014 年度活動計画

- 3月1日 2014 年度定例総会・初会合 早稲田奉仕園
- 3月10～12日 稲吟会春合宿 潮来市
- 4月 稲吟OB会会報39号発行・年会費請求 事務局
- 8月 稲吟会・OB会交流行事
- 9月 稲吟会夏合宿
- 10月 稲吟会第59回大会
- 12月 稲吟OB会会報40号発行 事務局



■2014 年度予算

2014年度(2014/1/1-2014/12/31)通常会計 予算

収入の部			支出の部			
費目	前年度決算	予算	費目	前年度予算	前年度決算	予算
前年度繰越金	261,989	356,601	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
年会費 ⁽¹⁾	575,000	500,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
記念大会特別会計より繰入 ⁽²⁾	300,000	150,000	稲吟会新勧緊急支援	250,000	250,000	250,000
寄付金	10,825	0	通信費	150,000	114,860	150,000
			会報製作費	95,000	53,700	100,000
			広報関係費	3,390	3,390	3,280
			名簿制作費	80,000	99,798	0
			行事関係費	100,000	87,450	100,000
			慶弔費	30,000	0	30,000
			役員会議費	15,000	0	15,000
			事務局経費	23,599	1,175	43,321
			記念大会特別会計繰入	0	0	0
			地方等支援	80,000	0	80,000
			振込手数料	5,000	840	5,000
			予備費	50,000	0	50,000
			次年度繰越金	0	356,601	0
合計	1,147,814	1,006,601	合計	1,061,989	1,147,814	1,006,601

(1) 年会費は100人の納入を想定

(2) 2013年度末時点で特別会計に240万円を確保。2012、13年度に続き通常会計に繰り入れる



◆◆ 躍動！ 稲吟会だより ◆◆

第59代幹事長を率いる馬場幹事長と、会計を担う中里さんから文章を寄せてもらいました。

稲吟会らしさ

稲吟会第59代幹事長 馬場郁実（政経3）

近頃、新入生の勧誘活動の時期が近いということで「一体、新入生に伝えるべき稲吟会のよさとはなんなのだろう」と考えることが多くありました。そんな中、平成25年にご卒業された、紺谷先輩が残してくださった、新勧に関する資料の中に、「稲吟会らしさを失って、一般的なオールラウンドサークル（所属しているメンバーで何か楽しいことをするというのみを目的としているサークル）のように振舞うと規模の面で淘汰され、失敗する。」という一節がありました。このこと自体も事実ですし、同時に新入生が入会してくれる最大の要因となるのは、結局は「稲吟会らしさ」であることも間違いがないと思います。また、少し話がずれますが、僕が稲吟会のことを好きな理由も、幹事長として一番大事にしたいこともまた、「稲吟会らしさ」に相違ありません。ということで、前置きが長くなってしまいましたが、自分なりに考える「稲吟会らしさ」を述べることで、この場をお借りして、新勧活動に向けてと幹事長としての抱負とさせていただきます。



稲吟会らしさとは、歴史の長さとその大事にする姿勢だと思います。この歴史の長さは、ただ長いというだけでなくそれにより様々な個別の特徴を生み出しています。「早稲田精神昂揚会」や「早慶戦支援会」などの界限サークルとの交流や、明治大学詩吟研究会をはじめとする、全国の大学の詩吟部との交流など、実に多様なお付き合いがあり、そのそれぞれが素晴らしい関係として継続しています。もちろん、こうして私が会報に寄稿をさせていただいているように稲吟OB会の皆さまとの交流も、これまでの全ての先輩がたが着実に稲吟会を守り、発展させて来てくださった賜物です。

もう一つの稲吟会らしさとして、会内の強固な連帯感があると思います。ぼくは、ソフトテニスサークルにも所属しています。ひょっとすると、そちらの会員同士の人間関係のあり方のほうが、今どきの大学生らしいのかもしれませんが、それでも、ぼくはただ少人数の団体だからでは説明しきれない、稲吟会員同士の強烈なつながりの強さがとても好きです。いつ誰と誰が部室でバッテリー会っても楽しいひと時を過ごせる。ややもすると楽しすぎて授業を忘れて宴会が始まってしまうような、そんなつながりを大事にしたい。そしてそれらを新入生に伝えて、新しいつながりを広げて行きたいと幹事長として強く思います。

新入生勧誘について自分の思う事

稲吟会第59代会計幹事 中里貴央（政経3）

ちは。稲吟会3年の中里貴央と申します。59代執行部におきましては、会計幹事の任にあたっています。どうぞよろしくお願ひします。

だんだんと寒さが和らいで、春の訪れを感じさせる日々が続いていますが、それは稲吟会の新年度最初の試練、新勧活動が近づいてくることも意味しています。昨年の新勧における大躍進にも負けない成果を出せるよう、3年生として一生懸命、勧誘活動を頑張りたいと思います。

と、ここまでさも昨年の新勧を見てきたかのようなことを書きましたが、実を言うと私は昨年新勧活動を全くしていません。というのも、私は2年次の5月頃に稲吟会に入会したからです。5月入会なので、稲吟会の新勧活動を受けてすらいらないのです。

じゃあ新勧を受けてすらいらないのに、なんで今時メジャーとは言えない詩吟という古典芸能を始めようと思ったのだ、と疑問に思われる方もいるかと思ひます。正直なところ私にもさっぱりわかりません。1年次に、どこかしらのサークルに入会する機会を逸し、孤独と寂しさの中で、雑誌のサークル情報の欄を丹念に読み返していったところ、「稲吟会」…では無く、「剣詩舞愛好会」というサークルを発見したのが事の発端です。「剣で舞うってかっこいいな」となんとも小学生並みな憧れを抱いて、また限られた大学生活、どうせやるなら変わったことをしたいと思ひて、連絡をとってみた結果、それが実は稲吟会が新勧用に設置したダミーサークルであった…という感じです。結局、そのまま稲吟会に入会してしまいましたが、当時自分がどんな気持ちでいたのかははっきりとは思ひ出せません。藁にもすがりたい気分だったのでしょうか。いや、掴んだのは藁ではなく、青々とした稲穂だったのでしょう。いずれにせよ、私は稲吟会に入ったことを後悔していません。むしろ稲吟会に出会えて本当によかったと思ひます。

話が逸れてしまいましたが、このような調子なので、私は3年生のくせに新勧のノウハウはほぼ無いに等しいです。しかし、不思議と不安はありません。むしろ楽しみにしています。どのように勧誘していくか、どんな1年生が入ってくれるのだろうか、と一人勝手に心を踊らせています。何故かと問われれば、恐らく、1年次に長く独りでいたせいとか、新勧といった、早稲田においては一種の祭りのようなものに対する憧れがあったからなのでしょう。ですから、私にとっては、新勧は「頑張るもの」と同時に、「楽しむもの」でもあるのだろうか、と思ひます。

ここまで長々と拙文を書き連ねてしまいましたが、とにかく私は稲吟会の新勧に全力で取り組みたいと思ひています。良い結果をご報告できるよう、「楽しみ」ますので、今後共々59代稲吟会をよろしくお願ひします。



◆◆ 元気! OB 寄稿 ◆◆

独立開業しました

高野浩樹 (平4・弁護士)

1. 最初に

昨年10月に出澤総合法律事務所から独立し、東京都千代田区神田神保町において九段アローズ法律事務所を開業しました。



2. 独立のきっかけ

平成9年に弁護士登録後、出澤総合法律事務所にはアソシエイトを経て、事務所経費を分担するパートナーとして所属していました。同事務所は4~5名の弁護士が所属する中規模事務所であり、所属していることによる安心感はありましたが、士業である以上いつかは独立したいと漠然と思っていました。

昨年3月ころには、年齢的にも40代の中盤に入り、このままでは独立の体力がなくなるおそれがあったほか、自分なりのリーガルサービスの企画や業務拡大戦略を実現するために独立したいと感じるようになりました。

家族からも独立に協力したいとの言葉をもらったこともあり、独立を決意しました。

3. 事務所探し

独立を決意してから、事務所の物件探しを行いました。不動産業者に紹介を依頼しました。駅に近くて12坪ほどの物件を探していたのですが、良いと思う物件は見つかりませんでした。

物件まわりを始めて3か月ほどして、現在の物件を偶然インターネットで見つけることができました。現在の物件は、九段下駅と神保町駅の各駅から2分ほどの距離で、靖国通りに面しており、広さも12坪と適当で、自分は運がよかったと思います。独立開業する方は、事務所の物件については、安易に妥協しないで、時間をかけて決める方が後々後悔は少ないし、不動産業者の紹介に頼りすぎない方がよいと思います。

契約交渉の際、大家は、定期借家契約にしてほしいと要求してきました。定期借家契約とは、一定の契約期間が経過すれば契約が終了する契約であり、普通借家契約では認められる法定更新が認められない点で、大家に有利な契約です(テナントの場合、近年は定期借家が増えています。)

このように契約期間が満了すれば立ち退かなければならないという危険があるため、こちらから大家に要求し、法定更新ができる普通借家契約にしてもらいました。弁護士としての知識が個人的に役に立った場面でした。一般的に不動産賃貸借の貸主は、借主の条件変更要求にはあまり応じないのですが、交渉はしてみるべきだと思います。

賃貸借契約書にサインしたときは、「これで退路は断たれた。ルビコン川を渡った。」と感じました。他の独立した弁護士も同じ思いをしているそうです。

4. 開設準備

こうして事務所物件が決まった段階で、事務所の代表弁護士（いわゆるボス弁）に独立の希望を出したところ、快諾していただき、「依頼者さえよければ、引き継いでもらってよい。今後は兄弟事務所としてやっていきたい。」というありがたい言葉もいただきました。

そして、10月の開業に向け、本格的に新事務所の開設準備を進めました。

業者によるパーテーション工事を行い、複合機、本棚、ロッカー、各種テーブル等を購入しました。複合機・ビジネスホンや顧客から見えない場所に置くロッカー等は中古で購入しました。複合機・ビジネスホンは新品で購入したり、リースを組むとなると100万円を超える高額な出費となりますので、かなりの経費削減になったと思います。

5. 事務所の名称について

事務所の名称は、「九段アローズ法律事務所」としました。「アローズ」とは、矢のようにすばやく、的確に依頼者を守る事務所でありたいという思いを込めています。

6. 独立後の状況

現在、前事務所から引き継がせてもらった依頼者のほか、新規の依頼者や顧問先企業が徐々に増えている状況です。前事務所では、企業法務のほか、相続等の個人案件も多数手掛けることができたことは貴重な経験となっており、自分の強みであると考えています。

事務所のサービスのモットーは、「迅速、親切、丁寧」です。メールによる質問に対しても当日に回答することを原則とすることなど、スピード感のある対応を心がけています。

今のところ、紹介による案件獲得がほとんどであるため、ホームページを利用したり、個人向けのホームロイヤルサービスといった新規のリーガルサービスの企画により新規顧客の開拓を行っています。

事務所の運営を自分の判断だけで行うのは大変ですが、大変やりがいがあります。将来への不安はありますが、独立してよかったと感じています。

7. 最後に

覚悟はしていましたが、独立開業までの作業は膨大でした。家族の協力がなければ、独立開業は間違いなくできなかったでしょう。家族に対しては、この場を借りて深く感謝します。



■九段アローズ法律事務所

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3丁目2番地5 九段ロイヤルビル702

電話 03-3263-8770

E-mail: info@arrows-law.jp

ホームページ <http://arrows-law.jp/>

ブログ <http://h-takano.blogspot.jp/>

学生時代よりも学生らしい生活

紺谷弘毅（平25）



このたび現役担当に就任いたしました平成25年卒会の紺谷です。この場をお借りして簡単に近況をご報告させていただきます。

早いもので早稲田大学を卒業してから1年がたちました。卒業後は東洋エンジニアリング株式会社に入社いたしまして、現在経理部員として働いております。配属直後に先輩から「経理部は他部署とのかかわりが比較的に薄いため、社内の人の名前を覚えにくい。部活などの業務外活動で社内の人脈を広げておいた方が今後のためになる。」と言われ、その言葉をうのみにした結果、現在サッカー部、バスケ部、山岳部、（ときどき陸上部）に所属しております。

本社が千葉県にあり、都内に比べて土地が安いのでしょうか。本社ビルの前には広いグラウンドがあり、昼休みになるとそこで毎日サッカーをやっております。社会人になったら運動する機会は減るものと思っておりましたが、良いのか悪いのか大学生の時より健康的

な生活を送っております。

入社当初は千葉県若葉区の桜木というところにある社員寮に住んでいたのですが、通勤に恐ろしく時間がかかり（1ヶ月の定期券代金が2万円以上…）、東京から帰ってくる時の終電があつという間になくなってしまうことなどから、現在は津田沼の社員寮で生活しております。新入社員は会社の寮に入ることが必須であったので同期もみな社員寮に住んでおり、帰宅後は誰かの部屋に集まって飲んだり騒いだりと、毎日合宿をしているような気分を味わっております。

私の同期はノリと勢いだけは大変素晴らしいものを持っておりまして、金曜夜の就業後に「牛タンが食べたい」などと言おうものなら、そのまま車を走らせて土曜の朝にはみんなで仙台観光を楽しんでいるというようなことがしょっちゅうあります。

一応仕事も真面目にやっているのですが、部活をやったり同期に恵まれたりした結果、学生時代よりも学生らしい生活を送り、非常に楽しく過ごしております。（そのうちできなくなるとは思いますが…）

近況報告はここまでとして、最後に感謝の気持ちを一言だけ述べさせていただきます。ここ数年の稲吟会の会員数の推移を見たとき、恐らく私が在学していた4年間で最も会員数が少なかった時期だと思えます。それでも稲吟会を楽しむことができたのは、OBの方々の手厚い支援があったからです。特に若手OBの方々とは卒業後も仲良くお付き合いをさせていただいており本当に感謝しております。

現在稲吟会の会員数が増加傾向にあるのは前向きに積極的に勧誘活動を続けた後輩達の努力のたまものであり、これからも現役担当として彼らのことをより一層近い立場で支援していけたらと思っております。

現役のみなさんは、やってみたいことや困ったこと、何でもいいので思いついたらとりあえず相談してみてください。できる限りの支援をいたします。

まだまだ至らぬところはあると思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



会員近況情報

OB会員名簿正誤 お手元の名簿（2013年度版）について、以下を修正ください。

名簿の内容について変更などありましたら、meibo@togin.org までお知らせください。

年会費の納入にご協力ください

会員の皆様には年会費（5,000円）の納入をお願いしております。卒業後3年間は4,000円です。まだお支払いでない方は下記の口座にお納めください。

各位の会費納入実績につきましては、稲吟OB会事務局会計幹事の板倉真介（平10）に電子メール（kaikai@togin.org）もしくは往復はがきにてお問合せください。往復はがきの場合は、ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面に記入の上、板倉までお送りください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。お答えできるのは、お問合せを頂いたご本人の納入実績に限ります。

口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740
《他の金融機関からの振込の場合…》
ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）、店番 019、
店名 〇一九（ゼロイチキユウ）店、預金種別 当座、
口座番号 0061740、受取人名 ワセダダイガクトウギンOBカイ
年会費 5,000円

恐れ入りますが振替／振込手数料はご負担ください。

～ 編集後記 ～

稲吟会の創設者である伊藤周作さんのお話あり、ピカピカの新幹事長・馬場郁実さんの決意表明あり、もうすぐ60年となる稲吟会の歴史の凝縮された会報となりました。今号で私も事務局を卒業、これまで発行にご協力いただいた皆さまに、感謝を申し上げます。（たかはし）

■裏表紙解説

演劇博物館にて。周囲の建物が近代的な装いへと変貌を遂げる中、演劇博物館はかつてのたたずまいを残しています。卒業式のこの日は企画展に連動したライブが行われていました。演博のホームページは最近リニューアルされました。企画展の案内やデジタル・アーカイブ・コレクションなど、さまざまなコンテンツにアクセスできます。（<http://www.waseda.jp/enpaku/>）。



発行：2014（平成26）年4月10日
発行者：早稲田大学稲吟OB会事務局

編集発行責任者：高橋 優（稲吟OB会事務局付）
早稲田大学稲吟OB会会報 通巻第39号